

平成 29 年 8 月 15 日

関西学生オリエンテーリング連盟

競技部長 田中創 様

関西学連第一回定例戦実行委員

大会コントローラ 実藤俊太

定例戦実施報告書

1. 定例戦実施報告

平成 29 年 5 月 14 日、大阪大学・奈良女子大学・神戸大学オリエンテーリングクラブは生駒山麓公園において、平成29年度関西学連第一回定例戦を実施したことをここに報告する。

2. 実行委員長報告

ひとまず競技が成立してホッとしている。参加者も予想よりも多かった。コースを組んで試走に行き、植生悪化が判明して組み直す、がそこも修正が必要、というようなことを繰り返したので試走回数が増えて効率が悪かった。植生の悪化などが予想される場合は試走の前に下見に行き、使えるエリア・使えるが地図修正が必要なエリア・使えないエリアに分けていけばコースも組みやすくなり、修正の予定も立てやすくなっていただろう。

3. 運営責任者報告

やはり輸送の問題であろう。あくまでサブとして生駒山麓公園の方々に出してもらったバスに対して参加者が殺到してしまい遅刻者が出てしまった。あとは学連の第一回定例戦というもののとらえ方をもう一度幹事会と総会で話し合っほしい。各校新歓が忙しい中で開く本大会は多くの目的を達成しようとする運営側が破綻してしまいかねない。それゆえあくまで新歓を主体としているのか、それとも通常の大会と同様に一般参加者を多く見込むのか、今回は完全に新歓よりの大会方針とした。それが理由とは言い切れないが、少し一般参加者の扱いが雑になっていたように思える。

4. 競技責任者報告

試走の際に公園施設の休園日に当たってしまった。きちんと休園日等の確認は行いましょう。

地図の植生や道の変更、公園の使える区域などが以前大会をした時とは変更していた。そのため、一部調査を行なった。

大会当日は予想していたよりも多くの方にご参加いただき、リレーの地図をその日に追

加で印刷する等、ばたばたしてしまった。

また、リレー試走用の地図を印刷するのを忘れてしまっていた。

リレーでは20チームを上限とし、1度に同じ方向に人がいかないように考えた。

ビジュアルを設けたことで次走者の準備の目安になったのではないかと思う。

リレーで計センが機能できなかつたので、最終走者が計センで読み取りしたあと、順位確定のためにチーム構成(男子のみとか)を聞いた。

4年前とは違い、毛虫の大量発生がなくてよかったと思う。

5. 大会コントローラ報告

競技面

MAクラスの1番→2番コントロールのレグでそのまま東方向にマップアウトする参加者が何人か出てしまった。2番コントロール東の地図の境界線には大きな水系付きの沢があるためそれで気づくだらうと思い、設定したレグであったが少し不適切であった。レース後に話を聞くと、有料エリアであり今回使用していない生駒山麓公園のアスレチックエリアに入ってしまった参加者もいたようで、今後のトレイン使用に関わってくる問題となる可能性もあった。

運営面

プログラムの交通案内で臨時バスを推奨してしまったが、来場者数に比べて臨時バスのキャパシティがかなり少ないことを考えると、自家用車での来場を推奨するべきであった。実際、バスは超満員になり、乗れない人が多数出てタクシーや徒歩で生駒駅から来場する参加者もいた。

6. 将来への提言

(実行委員長)

数年前から第一回定例戦は新歓行事の一部であるという認識が強まっている。トレインをパークにこだわる必要はないが、不慣れた新入生の安全面には特に気を遣わねばならない。その点パークは遭難の恐れなどは低いですが、立入禁止のエリアが多い。立入禁止を示す記号を網羅した一覧表を地図の裏に印刷するなどすると良いかもしれない。

(競技責任者)

試走の際は休園日など確認しましょう。

道の増設や使える区域の変更などがある可能性のでトレイン候補が出たら3役とかで一度先に行ってみるといいかもしれません。

(大会コントローラ)

地図の端を使うとマップアウトの恐れがあるので極力避けるべきである。

第一回定例戦特有の新人の申し込みで受付が大混雑してしまう、という問題を各校に

事前に来る新人を聞いておくことで回避することができたのはとても良かったので来年以降も続けていってほしいと思う。

上記及び、関西学生オリエンテーリング連盟競技部長へ提出されたスタートリスト及び公式成績を併せて定例戦実施報告書とする。

以上